

歐米局

特高秘第三〇三八號

大正十四年十二月廿八日

京都府知事

池田

宏



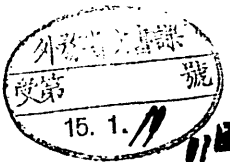
内務大臣 若槻禮次郎殿
外務大臣 幣原喜重郎殿
指定廳府縣長官殿

「セミヨノフ」將軍來往ニ関スル件

長崎市在住

元露國陸軍中將 シーエム、セミヨノフ

左者通訳「ソザノフ」全件本月廿三日亀岡町ニ大本
教王仁三郎ヲ訪問シ自己所有ニ係ル蒙古森林伐採



權ヲ大本教若ハ全教信者ニ賣却シ度キ希望ヲ述ベ
タルモ大本教ノ現状ニ於テハ到底之ヲ買受ケ得ル資力
ヲ有スル者無シト謝絶シタルニ然ラバ東京方面ニテ希
望者ヲ物色スト稱シ東上シタル件ハ既報シ置キタル
が昨廿七日午前七時三分京都着列車ニテ入洛直ニ亀
岡町ニ大本教王仁三郎ヲ再訪問シ前記森林伐採權
譲渡希望者ニ関シ東京方面ニ於テ物色ヤシモ思ハ
レカラサルヲ以テ松村仙藏(大本教幹部)ニ之カ賣却
方委任入ヤキニ付可然御援助相成度ト懇願シ午後六
時三十二分亀岡駅發列車ニテ出發京都駅ニテ全七時
三十五分發列車ニ乗替ヘ下関ヲ至テ長崎ニ向ケ出
発セシヲ以テ注意方大政府へ電話通報シ置キタリ
右及申(通)報候也

13
陸米局

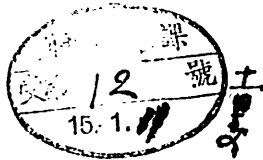
兵外發秘第二九七二號

大正十四年十二月二十八日

兵庫縣知事 山縣治郎

大正十四年 宣月廿九日 記録係署

内務大臣 若槻禮次郎 殿
外務大臣 幣原喜重郎 殿
指定廳 府縣長官 殿



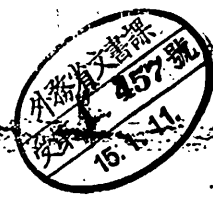
セメヨフ將軍末神ニ関スル件
長崎市在住
ダリゴリー セメヨフ

右者本月二十日長崎ヨリ末神翌ニテ東京
都ニ赴キタル旨既報ノ後ニテ又後九時

十六日三宮駅着列車ニテ末神ニ江ノ浦
ホイルン投置タルが而三日滞在スル趣キ
右及申(通)報素也

222

51



門	1
類	6
項	3
號	

外高秘第一號

大正十五年一月八日

長崎縣知事 富永

鴻

並細亞局

第一課甲

反過撥振千係

送込名

小野

内務大臣 若槻禮次郎殿
外務大臣 岡田 良平殿
文部大臣 田 喜重郎殿
指定廳府縣長官殿
立田中村連各事務官殿

セミヨーノフ將軍並細亞宗教
聯合運動ニ関スル件

長崎市南山手町十二番地
露國陸軍中將

グリユリー、セミヨーノフ

Grigory Semenov

右者並細亞ニ於ケル宗教聯合運動
ニ関スル用務ヲ帶ビ京都東京方面
ニ旅行ノ件ニ関シテハ客年十二月
二十日付既報ノ如キ本五月午後
四時七分長崎駅着列車ニテ秘書サ
バノ同伴既崎シタルガ往訪ノ本
縣視察員等ニ對シ左ノ如キ談話ヲ
為シタリ

予ハ亜細亞ニ於ケル各宗教ヲ結合シ
 テ宗教的ニ全亞細亞ノ團結ヲ圖リ
 以テ凡ユル宗教ヲ無視スル露國過
 激思想ノ防止及亞細亞モンロー主
 義即チ亞細亞人ノ亞細亞主義ヲ樹
 立セント企テタルハ予ガ西比利亞
 ニ於テ政權ヲ掌握シ居タル當時即
 チ一九一九年後半ヨリ一九二〇年前
 半ニ於ケル間ナリキ當時予ハ使ヲ西
 藏活佛、メツカ回教大主教、エルサレム
 基督教大主教、蒙古萬州方面ノ佛教高僧
 ニ派シテ之ヲ謀リタルニ何レモ其ノ
 趣意ヲ賛シメツカ回教大主教ノ如キ
 ハ予ニ對シコハリファノ聖權(過激派討
 伐ノタメ回教徒ヲ糾合シ得ルノ權)
 ヲ附與シタル程ナリシモ本事業ガ
 未ダ其緒ニ就カザルニ當リ日本ノ
 西比利亞撤兵ニ次デ予ノ失脚ニヨ
 リテ頓挫シ其ノ後全西比利亞ハ過激
 派ノ手中ニ収メタルノミナラズ之ガ
 東漸ノ魔手ハ遂ニ全東亞ヲシテ過激
 化シ去ラントスルノ狀態ヲ呈スルニ
 至リ予ハ東亞今日ノ危機ヲ坐視スル
 ニ忍ビズ思想運動ニ對スル思想運動
 タル亞細亞宗教聯合運動再興ノ緊

(2)

要ナルヲ痛感シ昨年三月渡滬ノ際當時同地ニ滞在中ナリシ西藏ダライラマト殆ンド同等ノ聲望ヲ有スル班禪喇嘛ニ會見シテ本運動ニ對スル諒解ヲ得越ヘテ同年九月天津ニ渡航シ班禪喇嘛代表者蒙古支那仏教高僧政治家南支田教僧侶等二十余名ノ會合ヲ求メ予ハ議長席ニ就キ恆議ヲ重ネタルガ席上或ル者ハ本運動ハ頗ブル大事業ニシテ有カナル國家ノ内面的後援ヲ得ルニアラザレバ所期ノ目的ヲ達成スルコト難シ而シテ日本ニ之ガ援助ヲ仰グ方都合ナル如キモ

(3)

日本ハ帝國主義ニシテ既ニ南滿州ヲ其ノ勢力範圍トシ尚ホ機會アル毎ニ我國ヲ蚕食セムトスルノ虞アルヲ以テ寧ロ我國ニ同情ヲ寄セ居レル米國ニ之ヲ仰ガムト提議シタルニ對シ予ハ之ヲ論駁シテ曰ク米國ヲ支那ノ同情者ト爲スハ頗ブル近視眼の見解ニシテ米國ハ寧ロ我等東亞人ノ大敵ナリト云フヲ憚カラズ何トナレバ今我等ガ脅威ヲ感シ居ルハ歐露ヨリ來ル過激思想ノミニアラズシテ白哲人種ノ壓迫ナリ濠州ト云ハズ南阿ト云ハズ諸士ノ同情者ト認ムル米國ノ如キモ數十年來我等

黄色人種ヲ排斥シツ、アルニアラズヤ
斯ノ人種間争ハ將來益々猛烈トナル
ベキハ明ニシテ我等有色人種ハ
之ニ對シテモ大同團結ヲ爲スノ
要アリ
而シテ有色人種中最モ有カナルモノ
ハ日本ニシテ我等ハ此矣ヨリスルモ
大ニ日本ニ倚ラザルベカラザルノミナ
ラズ當面ノ問題タル過激思想ニ對シ
テハ地勢的關係上日本ハ其ノ脅威ヲ
受クル事米國ノ比ニアラズシテ之ガ防
止運動ニ関シテハ深甚ノ考慮ヲ拂ヒ
居レル状況ナルヲ以テ此種運動ニ對

シテハ決シテ之ガ援助ヲ名ムニアラ
ザルベシト説キテ反對
テ日本ノ援助ヲ仰グベク
ヲ得予ハ其際本會ノ名譽會長
ニ推サレテ日本宗教家ノミナラズ朝
野ノ人士ニ遊説スベク承諾シ尔來本
運動ニ奔走シツハアリ先般東京上ノ際モ
参謀本部及文部省其他京都方面
ノ宗教家ニ説キテ諒解ヲ得タル次
第ナリ本會ハ目下本部ヲ天津ニ置
キ會長ハ蒙古佛教家田樹海副會長
支那佛教家李夢琴(？)ニシテ滿州蒙
古支那ノ一部ニ佛教徒回教徒會員

約二十萬ニ達シ近ク新聞発行ノ計劃アリ
リ尚ホ本年三月頃ハ日本ニ於テ代表
者ノ大會議ヲ行ヒ具體的宣傳方法其
他各國並各宗教トノ連絡ヲ計ル心算
ナリ云々
追テ當地滞在中ナリシ蒙古貴族萬
起凱ハ本月五日午後一時當港出港
ノ聯運船長崎九ニテ渡滬シタルガ
其ノ要件ハ本運動ニ関シ上海ニ來ル
筈ナル南支田教僧侶ト會見ノタメ
ナリト云フ

右及申(通報候也)

12

兵外祭秘第四六號

大正十五年一月八日

兵庫縣知事

山縣治郎

大正十五年一月廿九日記録係書受

内務大臣若槻禮次郎殿
外務大臣幣原喜重郎殿
指定廳府縣長官殿

子
子

41

外務省文書課
416
15.1.11.

セメヨノフ將軍出祭ニ関スル件
長崎市居住

長崎市

グリゴリー、セメヨノフ

右者客臘二十七日京都ヨリ來神市内江
戸ビルホテルニ投宿シタル旨既報ノ処翌

二十八日午前八時五十一分三宮駅祭列車ニテ
通訳「ソゾノ」全伴長崎ニ向ヒタルカ出祭
ニ際シ本月七八日頃再ヒ來神ノ予定ナリ
ト語り居タリ

右及申(通)報候也

門
類
項
目

歐米局

外高秘第一號

大正十五年一月八日

長崎縣知事

富永鴻

應込名及過数振り付

内務大臣 若槻禮次郎殿
外務大臣 男爵幣原喜重郎殿
指定廳府縣長官 殿

大正十五年一月廿九日記録係書

セミヨロフ關係露國人既来件

長崎市南山手町北二番地居住
元露國陸軍大佐
エヌ エー、 四十トコラ

外務省文書部
第458號
15.1.11.

第四号

Stittkopf

右者セミヨロフ將軍、依頼ニ依リ全將軍
所有ニ係ル蒙古森林賣却問題ニ関シ上
海ハルシウム、インジニアリング商會支配人グ
ルーベルマント商談、為メ客月廿四日長崎出
帆、聯絡船ヲ渡滬、件ニ関シテハ既報
ノ慶本月一日當長崎入港ノ聯絡船長
崎丸ヲ既来シタルヲ以テ交渉、經過ヲ聽
クニ右クルーベルマシハ當時漢口ニ旅行中ニ
テ何時既滬スルヤ不明ナルヲミナラス今人
ニ本商談ヲ真面目ニ進行セシムベキ模
様ナキヲ以テ既崎其状況將軍ニ報告
シ置キタリト云フ
右及申(通)報候也

12

歐米局

局長

外高秘第一號

大正十五年一月十一日

長崎縣知事 富永

永

鴻

（印）

門
類
項
號

外務省文書課
第 427 號
15 1 15

内務大臣 若槻禮次郎 殿
外務大臣 幣原喜重郎 殿
指定廳府縣長官 殿
平安北道慶尚南道各知事 殿
中村立田各事務官 殿

セミヨノノフ關係旧露國人來崎ノ件
薩哈連居住旧露國人

當時奉天滞在元露國陸軍

騎兵中佐

ニコライ・グリゴリウイチ・ミヤテリチン

當四十九年

右者目下市内南山手町十五番地居住
セミヨノノフ將軍ノ部下タリシコトアリ
テ露領薩哈連ニ居住シ一ヶ月前ヨリ
奉天ニ旅行滞在中ナルカ全人ハ白
軍バルチサンノ頭目ニシテ目下シ
ヤ方面ニ約一萬ニテ部下ヲ有シ昨
年セ將軍カ天津ニ旅行セル際久方
振ニ會見シ日本來遊ノ希望ヲ述ヘ

綴込名 久遠懷源子保

セ將軍モ同人ヨリ最近ニ於ケル露國
事情ヲ聴取シタキ意見ヲ有レ日本
ニ於テノ再會ヲ約シ居タルが先月
全人ヨリセ將軍宛渡來シタキ旨ノ
通信アリレヲ以テ將軍モ至急來
崎方返信シタル由ニテ一月六日セ將
軍ヨリ同人ニ對スル身元引渡書
ヲ提出シ入國許可方ニ関シ新義州
警察署へ電報照會方願出タルヲ
以テ別段容疑ノ具ナキニ於テハ入
國許可差支ナキモノト思料レ管
下梅香崎警察署長ヨリ新義州警

察署長宛其旨電報レタルニ入境
許可セラレタル趣ニテ本月八日午
後十時三十八分長崎驛着列車ニテ
來崎市大浦松ヶ枝町ゴールデニイグル
ホテルニ校宿申
右及申(通)報候也

歐米局長

歐米局

大正十五年一月廿九日記録係整理

特外鮮秘第四号

大正十五年一月廿九日

門	6
類	3
項	
號	

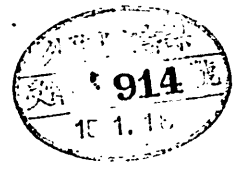
福岡縣知事柴田善三郎

内務大臣若槻禮次郎殿

外務大臣幣原喜重郎殿

関東六警務局長殿

長崎縣知事殿



セシヨノ対東魯公司警察署問題ニ関スル件

前代議士現大連全護士

斎藤嘉太郎

右者本月十四日大連ヨリ管下門司ハ港ハ
 商船アメリカ丸船客トシテ渡来門司上
 陸後長崎ニ向ケ出発タリカ門司駅休
 憩中首題ノ件ニ関シ我ニタリ外九記ノ
 通り御参考也

記

報候也

自分ノ今回ハ長崎旅行ニ要旨ハ予テ
 問題トナリ民事訴訟ヲ煮起セルセシ
 ヲノフル対東魯公司ノ五十六万圓事件

及過激派予解
 多

61
 少御

ノタメナルガ元末全事件ハ往年サセヨ
ノ隆盛極メタル時代ニ時ハナク
政府カ東魯公司ノ手ヲ至テ軍資金ニ
百五十万圓ヲ送付セルニ当時東魯公司
ニテハ五十万圓ハ行衛不明トナリ五十万圓ハ
盗難ニ罹リタリトテ支払ハサルニ付キ「セシ
ヨノアルハ五十万圓ニ利子盡クテ加ヘ
計五十万圓ハ支払請求ノ訴訟ヲ
提起シ其後今ノ右ノ権利ヲ立耳其ノ
「イーセバル」タル「コンバ」ニ譲渡シ現在「サ
ラルコンバ」ニ對東魯公司ノ問題ト化シ哈

尔賓領事裁判ニ繫ル事ハ今同「セ」
シヨノアルガ長崎市在住ノ故ヲ以テ調
査方長崎區裁判所ニ移牒シタルニ
依リ自分ハ東魯公司ノ代表者白川友平
ノ依頼ヲ受ケ其ノ事情調査ノ事件ニ關シ
帶ヒ長崎ニ向フモノナリ云々

外務省文書課
848 號
15.1.18

12
外高秘第一號
歐米局

大正十五年一月十三日

長崎縣知事 富永鴻

綴込名

内務大臣 若槻禮次郎 殿
外務大臣 男爵幣原喜重郎 殿
指定廳府縣長官 殿

大正十五年一月廿九日 記

ミヨーフ秘書旅行ニ関スル件

長崎市南山手町北ニ番地居住

セミヨーフ將軍秘書

ステパン・ペトロウイ・サゾノフ

Stepan Petrovitch Sazonoff

令

右者本月十日午後一時三十分長崎弁列車ニ
テ京都へ向ケ出奔シタルが其要件ニ関シ
セミヨーフ將軍ニ就キ内査スルニ過般未
奔走中ノ外蒙古森林賣却問題ニ関シ
京都方面ニ於ケル希望者ニ談スル森林
係証據書類ヲ提示スル為メ之ヲ携行
シタルモノナリト云フ而テ談スル森林買受希
望者ハ大本教出口王仁三郎某宗教團體
所屬山崎某等ナル趣ナルガ右サゾノフ
セル結果如何ニ依リセミヨーフモ上洛スルニ
至ルヘント云フ
右及申(通)報候也

外務省文書課
849 號
15.1.18

歐米局

外高秘第一號

大正十五年一月十三日

長崎縣知事富

永

鳴

内務大臣若槻禮次郎殿
外務大臣幣原喜重郎殿
指定廳府縣長官殿

要目

セソヨノフ夫人ニ就テノ新聞

記事ニ関スル件

本月五日發行長崎日々新聞第五二五
五號ニ「貞節ニ感レテ妻ノ歸參ヲ許

スナル題下ニ門司電話トレテ曾テ
離婚サレタルセソヨノフ夫人「エナルト
エリナカスシク天津ニ居住中ノ処今
四年振ニレテ將軍ヨリ歸參ヲ許サ
レ四日高船河南九ニテ天津ヨリ門司
ニ來着長崎ニ向ヒタリ本云々記事掲載
アリシカ右ハ天津在ノ實母見舞ノ
為ノ客年末渡津シ今因飯崎シタル現
夫人カ門司通過ノ際新聞記者ニ於テ
相像ニ任セスル記事ヲ掲載スルニ至
リシモノト察セラル秘書サゾノフハ本
記事ニレテセソヨノフノ知ル處トナラム

綴込名

大正十五年一月廿九日記録

鳥

カ或ハ告訴ヲ提起スルニ至ルヤモ難國
ヲ憂慮シセヨノフノ談記事譯讀不
能ナルヲ寧口幸トシセヲ告知セサリシ
モノナル處本月十一日東京在住ノ友人
某(マブマエフ少将?)ヨリ本月五日發行
國民讀賣兩新聞掲載前記同種ノ
記事切抜ヲ郵送越シ來リタル為ノ遂
ニ右セヨノフノ知ル處トナリ不勘感情ヲ
害シタルモノノ如ク而シテセヨノフハポ
チヤギン金塊問題ノ控訴審出廷並未
二月四日在京友人ノ結婚披露宴ニ夫
婦共招待サレ居ルヲ以テ本月末頃上京
スルヲ機トシ右兩新聞社ニ對シ相當ノ
交渉ヲ為シ都合ニ依リテハ謝罪セシムヘキ
意圖ヲ有スルモノノ如シ

右及申(通)候也

(了)

門	6
類	3
項	3
號	

10
✓
歐米局
高級第八四七番

大正十五年一月十六日

静岡縣知事 伊東七郎

内務大臣 若槻禮次郎

外務大臣 幣原重二郎

相定府縣長官 殿

哈爾濱ヨリ販来者ノ談片

管下安倍郡大里村南安東植泉

獸醫

辻 辨 吉



右者商用ニ客年十月十日内地出發朝鮮經由哈爾濱ニ至リ一月五日歸御セル其談片左記ノ通り御奏ナリ迄

右及申(通)報候也

記

目下ハルビン方面地帯ニ於ケル露國人ハ赤露ノ政治手段及一部赤化青年ノ行動ヲ嫌忌スル事甚クシテ日本人ノ渡航ニ際シテハ寧ロ反感ヲ以テ迎フル状態ニシテ革命ノ後帝政時代ノ高位高官ニ在リシ者又全ク零落シ一労働者トシテ又邦人等ニ使役セラル居ル者多数アル共ニ之等ノ者ト虽又國體變革ノ厄ニ遭遇セルヲ諦メ如何ナル勞働ト虽又易々諾ク之ニ從事シ居ル有様ニシテ乞フ者続出シ今地一帯ノ露國人ハ一般ニ低級ナル生活ヲ為シ居リ

及過激派手帳



少卿



歐米局

機密第一七號

大正十五年一月八日

在間島

歐米局長

總領事鈴木要太郎

大正十五年一月九日

亞細亞局外務大臣男爵幣原喜重郎殿

在支白軍ノ再舉計畫ニ関ハル報告

(本館署長報告要旨)

往年赤軍ニ驅逐セラレ支那領ニ適竄シテ各地ニ分散シ居レル白軍幹部間ニ於テハ依然再舉ノ好機ヲ窺ヒ居レルモノ如ク最近在上海白軍總司令ニチヤイエフヨリ在間島龍井村露人居留民會長サンコーフ宛左ノ要旨

ノ通信アリタリト

從來張作霖ト聯絡シテ好機ヲ俟テ居レルカ過般新民府附近ニ於ケル張郭戰鬪ニハ部下多數ト共ニ張軍ニ參加シ死傷者數十名ヲ出シタルモ今後奉天方面ニ於テ其後援ヲ受ケ再舉ノ計畫ニテ各地幹部間ニ連絡中ナリ云々

因ニ現在龍井村在住露國人ハ約五十名ニシテ其過半ハ延吉道尹公署ノ指定ニヨリ吉林局子街間ノ橋梁修築工事ニ從事中ナルカ殘餘ノ者ハ労働雜役等ニ從事シ辛ツテ糊口ヲ凌キ汝寒ノ際極ノテ窮乏ノ状態ニ在リ

本信寫送付先

北京公使 奉天吉林哈爾濱上海各總領事

管内各分館主任同署長及分署長

朝鮮總督 咸北知事 羅南憲兵隊長

歐米局

外高秘第

一號

大正十一年一月十九日

長崎縣知事

富永 鴻

大正十一年一月十九日

外

内務大臣 若槻禮次郎 殿
外務大臣 男爵幣原喜重郎 殿
指定廳府縣長官 殿
立田中村連谷事務官 殿

セミヨ

セミヨノフ將軍關係者永往ノ件

長崎市大浦町甲斐田不テル滞在
蒙古貴族 萬 起 山 凱

令四十年

外務省
1192
15.1.2

門
類
項
號

右者セミヨノフ將軍ノ計劃ニ係ル亜細亞宗
教聯盟事業ニ就キセ將軍ノ依頼ニ依リ
本月五日渡滬今十三日飯崎レタルカ渡滬
要件ハ南支方面ヨリ上海ニ渡来ノ筈ナル支
那回教僧侶ト會見打合ノ為メナリト云フ
然ルニ本月十四日午後一時三十分長崎駅弁
列車ヲ門司經由北京ニ向ケ出奔レタルヲ
以テ其要件等内不直スルニ北京ニ於テハ喇
嘛僧ト前記聯盟計劃ニ関レ打合ヲ為シ
都合ニ依リテハ十数名ノ喇嘛僧ヲ同伴渡日
スルニ至ルヘク而シテ本名ハ哈甫賓奉天等ヲ
經由喇嘛僧ト會見打合ヲ為シ本月末頃
飯崎ノ予定ナル趣。

外務省文書係
案第1247
15.1.23

門
類
項
號

外高秘第一號

大正十五年

月十九日

長崎縣知事 富永

鴻

署名及過激派手印

ふじむ

101

内務大臣 若槻禮次郎殿
外務大臣 男爵幣原喜宣郎殿
司法大臣 江木翼殿
指定廳府縣長官殿
中村苗連各内務事務官殿

セミヨノフ將軍關係民事
事件ニ関スル件

ハルビン居住

イーデル、ウラル商會代表

韃靼系露國人

原告 アムール、ネグミヤツロウイチ

アゲーエフ 當四十七年

ハルビン居住

元東露公司代表

被告 白川友一

右アゲーエフハ曩年セミヨノフヨリ
譲渡サレアリタル被告白川友一ニ對
スル債權五十數萬圓ノ返還訴訟
ヲハルビン領事館ニ提起シ居タ
ル處其證人トシテ長崎市居住セ

ミヨノフ將軍及關係者タル同市今魚
町江崎清三郎ニ對スル證人訊問方前
記領事館ヨリ囑託テリタル趣ヲ以テ
本月十六日午前十時ヨリ長崎區裁判
所法廷ニ於テ謝花判事ノ係リ同裁判
所露語通訳武内秀三ノ通辨ニテ開廷
サレタルカ先之原告アゲーエマ訴訟代
理人大連居住辨護士值賀連(五會)被
告白川友一(五會)訴訟代理人大連居
住辨護士齊藤鷺太郎(五會)東京府下
松並町三五七予備陸軍大尉平佐二
郎(別報ホロコフ關係)東京市外池袋
三六。駒澤大學教授土耳其語通訳大久保

(2)

幸次等ハ何レモ來崎シ居リテ當日出廷
出會又ハ傍聽シ居タルガヤミヨノフ
ハ秘書サゾノフ同伴出廷(サゾノフハ傍聽
訊問ヲ受ケ午後四時開廷サレタルが事案
ノ内容並ニミヨノフ等ノ陳述大要左
記ノ通りニ有之候條
右及申(通)報候也

追テセミヨノフノ秘書サゾノフハ
武内通訳ノ通辨誤譯過多ニシ
テセミヨノフ將軍ノ眞意ヲ傳
フルモノニアラザルヲ以テ本陳述
ハ更ニ證言トシテノ價值ナキニ
因リ再調査方ヲ要求スベシト憤

激シ居タルニ遂ニ其儘トナシタリ

一 事案ノ内容 記

西曆一九二〇年即チセミヨーノフ將軍カ白軍ノ總師トシテチタノ方面ニ於テ赤軍ト對峙活躍當時軍需品購入ノタメ日本ニ送ルベキ金約五十二万三千圓及五万金留ヲ東露代表白川友一山内元信ニ依託シタルニ右両名保管中該金額ハ所在不明トナリタルヲ以テ右両名ハセミヨーノ將軍ニ該金ノ債務ヲ負フコトハナリシガ翌一九二一年

(3)

セミヨーノフ將軍ニ軍需品ヲ納入シタルイーデルウラル商會代表者ヲヤウセゾニ對シ支拂フベキ金額約五十万圓ノ支拂ニ窮シ前掲東露公司ニ對スル債權ヲヤウセゾニ譲渡シタルヲ以テキウセゾハ東露公司ニ對シ支拂方督促ヲ爲スモ其支拂ヲ爲サズル中「セウセゾ」死亡シタルニ付後継代表「アゲーエ」ニ於テ遂ニ本訴ヲ提起スルニ至リシモノナリトニフ

一 セミヨーノフノ證言大要
セミヨーノフカ東露公司ニ對シテ有

スル債權ハ自ラ其衝ニ當リタルニ非
ス當時ノ主計官ヲスキニ命シテ
之ヲ爲サシメタルモノナルモ東露公
司カ當時ノ予ニ對シテ債務ヲ負担ス
ルニ至リシハ事實ナリ

該金額ハ個人タル予ニ属スルモノ
ニ非ス予ニ依リテ設置セラレアリ
タル軍隊ノ代表者タル予ニ属シタ
ルモノナリトテ該金額ノ所有權ニ
就テ説明ヲ與ヘ次テ原被告兩者
ヨリ提出ノ證據書類ヲ一覽シタ
ル后五十二萬圓ハ山内元信五萬
圓留ハ白川友一ニ於テ債務者タ

ルベキモノナリト断定シタルガ
之ニ對シ白川ハセミヨーノフノ
命令ニ基テ返還方請求ヲ受ケ
「サベ」リエゾニ四萬五千圓「ビスク
ノ」ニ五百圓「バクセー」エゾニ二千圓「ク
レルゼ」ニ貳千圓「カメエ」ニ貳千圓ヲ
夫々支拂アレハ現在ニ於テ何等
ノ負債ナシト陳述シタルニ對シ
セミヨーノフハ一應其事實聞
知シタルモ后更ニ夫々返却シタ
ル趣ヲ聞知セリ且之ハ五萬圓留
ト別個ノ問題ナレハ彼此混合スベ
キニ非スト駁シ訊問終了

一 江崎清三郎ニ對スル訊問

客年四五月頃「アゲーエ」ノ訴訟代理人トシテ東露公司ニ對シ債務返還請求方セシヨ一ノフノ依頼ニ依リ大連居住弁護士值賀連ニ通知シタルコトアリヤトノ訊問ニ對シ事實ナリト答ヘ訊問ヲ終ル

午後四時開廷サレタルカセシヨ一ノフ證言ハ原告被告兩者共期待シタル程ノ有利ナル證言ヲ得サリシトナシ白川ノ如キハ來ル四月頃更ニ再ニ証人訊問ノ請求ヲナスベシト稱シ居タリ

カ

5

歐米局了

外高秘第一梯

大正十五年一月二十日

長崎縣知事富永

鴻

綴込名及過像振子印

大正十五年一月廿九日記録係接受

門	6
類	3
項	3
號	

外務省大蔵省
後第 1243 號
15.1.23

内務大臣若槻禮次郎殿
外務大臣幣原喜重郎殿
指定廳府縣長官殿
平安北道慶尚南道各知事殿
中村立田各事務官殿

要目付
セソヨノフ將軍關係露國人出發ノ件
薩哈連居住日露國人

當時奉天滞在元露國陸軍騎兵中佐

當四十九年

右本月八日セソヨノフ將軍ニ會見ノ爲メ
來崎シタル件ニ關シテハ既報ノ趣本月十
七日午後十一時長崎驛發列車ニテ奉天ニ向
ケ出發シタルカ本人來崎要件内容セソヨノ
フニ就キ内査スルニ左記ノ通り有也
右及申(通)報候也

記

西比利亞ニ於ケル政情及白色バル干サンノ

状況等ヲセソヨノフニ報告シ、且ツ勞農政
府ノ近時著シク不人氣トナリタルニ乘
シ西比利亞ニ反旗ヲ翻シ、爾ニ白軍ノ天下
トナスヘキ好機熟シツツアルヲ以テ徐々
兵ノ準備ニ着手スヘクセソヨノフニ出
テ從應シタルニセソヨノフハ自己ノ現在ノ
境遇露國政界ノ状況等ニ鑑ミ、其意志十
キニ各国民生活ノ安全ヲ圖ルヘシト論シ
歸奉セシメリト謂フ

以上

外務省文書録
1398
15.1.28

門
6
3

12

外高秘第一號

大正十五年一月二十二日

長崎縣知事 富永

大正十五年一月廿九日記録係接受

内務大臣 若槻禮次郎殿
外務大臣 男爵幣原喜重郎殿
指定廳府縣長官 殿

要目付了
セミヨーノフ關係露國人ノ
談話ニ關スル件

當時 奉天滞在元露國陸軍騎兵中佐
薩哈連居住旧露國人

ニコライ グリコリ ウイチ、ミヤテリチン

Nikolai Stepanovich Muterichin
當四十九年

右者來往ニ関シテハ既報ノ處當地滞
在中勞農露國ノ近狀ニ就キ本縣視
察員ニ對シ左ノ談話ヲ爲シタリ

記
勞農露國政府内部ハ目下積極消極
ノ兩派ニ別レ積極派ハ全世界ノ赤
化宣傳ヲ実行スベク主張シ消極派
ハ只自國內ノ共產制度ニ止メ之ヲ
他國ニ及ボシテ各國ノ反感ヲ買フ
ハ自國ノ隆盛ヲ圖ル所以ニアラズ

(1)

トナシ常ニ暗闘ヲ生シツ、アリ積極派
ニ属スルモノハ殆ンド猶大系ナリ
現在ノ赤軍総数ハ約四十万人ニシテ
本月十日ヨリ全露ニ亘リ徴兵令ヲ執
行シタリ勞農政府ハ四五年前小作問
題及農業資金其他經濟上ノ援助ヲ爲
スベク農民ニ約シタルニ不拘事實ハ
之ト相及シ農民ノ期待ハ裏切ラレ其
上莫大ナル國稅ヲ徵集セラレ作物ノ
如ク收穫高ノ半数以上ヲ納付セシメ
ラル、外家屋稅牛馬稅等ヲ課スル
タメ農民ノ政府ニ對スル怨嗟ノ聲
ハ漸次高調シ自暴自棄ニ陥リ勞働

(2)

ニ從事スルモ只自己ノ生活ヲ支持ス
ルノ程度ニ止メツ、アリ
政府ハ國家保安部ニ準共產黨員ヲ
以テ在郷軍ナルモノヲ組織シ居レ
ルガ(日本ノ比田ノ如キモノ)其總數約
六萬人ニシテ普通軍人ハ絶對ニ加
ハセシメザルコト、セリ
過般ノ支那動乱ニ際シ一ヶ師團ノ兵ヲ
派遣シタルガ彼等ハクローロニヨリ西北三
百露里ノ地点「キヤフタ」ニ駐屯シ居タ
リ同師團中ニモ自軍系ノ者多ク又
共產主義ノ非ナルヲ自覺セルモノ
秘密結社モ存在シ居ルナリ

現在ニ於テハ軍隊内ニ於テ共產主義
其他時局問題ニ就キ各自意見ノ交換
及協議ハ自由トナレリ
コハ政府ノ軍人ニ對スル威嚴ガ以前
ノ如クナラザルニ依ル國家保安部在
御軍ノ一部三千八百名ヲ統率スル
「モイセイ、ウルビンステイン」(猶太人)及バ
ークノ兩名ハ露國ト朝鮮トノ國境ニキ
エフスクスラビヤンカ、バラバンニ駐屯シ居リ
テ鮮人又ハ其他外國人ニシテ日本ニ及感
ヲ有セル者ニ對シ及日本ノ煽動ヲナシ
朝鮮獨立ヲ援助シシ、アリ
「クロン」方面ヨリ張家口ニ出動シタル「グー

(3)

シチン大佐ノ率ユル二千五百騎ハ間島方面
ニ駐屯シ居レル模様ニテ同軍ハ特ニ注
意ヲ要スルモノナリ勞農露國內ニ於
テ共產主義ニ及對スル主タル團體ハ
全部純露國人團體ニシテ現勞農政
府ヲ倒シ以前ノ帝政ニ復活スルハ
容易ナルモ帝政復活後ノ國家ノ財
政問題ガ困難ナルタメ自分ハザバ
イカル州黒龍沿海州全部ノ農民代
表トシテ戦争及財政上ニ関シセミ
ヨ一ノフ將軍ト打合セノタメ渡來シ
タルモノナリト
右及申(通報候也)

外務省文書
第1417号
15.1.26

門
類
項
目
1
6
3

10

外高秘第一號

大正十五年一月二十三日

長崎縣知事 富永

大正十五年一月廿九日記録係書

内務大臣 若槻禮次郎殿
外務大臣 幣原喜重郎殿
指定廳府縣長官 殿

セミヨーノフ將軍邸崎ノ件
長崎市南山手町二十二番地
居住
セミヨーノフ將軍秘書

ステバン・トロウイチ・サゾノフ

Stepan Petrovitch Sagamoto

右者 本月十一日上洛ノ件既報ノ處
去ル 十四日午後四時七分着列車ニ
テ 飯來シタルガ蒙古森林賣却問
題ニ 就テハ何等交渉進捗セザリ
ツ 趣
右 及申(通報候也)

綴込名及留振子印

鴻

[Signature]

外務省文書課
受第1638號
15.1.29

門
類
項
號

12

外高秘第一號

大正十五年一月二十六日

長崎縣知事 富永

内務大臣 若槻禮次郎

外務大臣 男爵幣原喜重郎

陸軍大臣 宇垣一成

指定廳府縣長官殿

中村立田各事務官殿

セミヨーノフ關係邦人來往ノ件
セミヨーノフ顧問

豫備陸軍少佐

黒木親廣

右者本月十九日午後四時七分着列
車ニテ天津ヨリ門司經由來崎市
上堅旅館ニ投宿中ノ處本月二十
日午後五時長崎駅弁列車ニテ出
管下大村町ニ下車一泊翌二十三
午後二時三十八分大村駅弁急行
車ニテ上京シタルガ當時滞在中
ミヨーノフ將軍ト數回會見シタル
外特異ノ行動ナシ尚時局其他ニ
シ洩シタル談片左記ノ通りニ有
候條

續込名

鴻

電

雪

(1)

右及申(通)報候也

記

一 來崎ノ要件

來^ル三月四日東京ニ於テ公判開廷ノ筈ナルボチヤギン金魂問題ニ就キセミヨ^ノフト打合、爲メナルガ第一審ニ於テハ敗訴ニ服シタルモ今因ハ必勝ヲ期シ居レリセミヨ^ノフトモ本月末頃上京ノ筈ナリ

一 支那旅行ニ就テ

予ハ昨年來蒙古産羊毛類ノ輸入ニ從事シ居リ既ニ陸軍省ヘハ多少納入シアリ尚引續キ本事業

(2)

經營ノタメ蒙古甘肅方面ノ産業状態視察ノタメ支那旅行ヲ爲シタルモノナリ

一 支那奥地ニ於ケル赤化運動

蒙古ハ今ヤ猛烈ナル赤化運動ノタメ漸次赤化サレツ、アリ殊ニ蒙古ノ軍隊ニハ一隊ニ必ズ赤軍將校ニ三名宛配属セラレ居リテ之等將校ハ公然指揮ヲ爲シ蒙古軍隊ヲ統率シツ、アリ斯クテ蒙古ハ日ト共ニ赤化サレ勞農露國ニ隸屬スルニ至ルベシ從來ニ於ケル赤化方法ニ就テ見

ルモ先ツ軍隊ニ魔手ヲ延シ之ヲ
赤化シ以テ其目的ヲ達シタリ
蒙古ハ今將ニ其術中ニ陥リツ、ア
ルナリ

一 東支鐵道問題ニ就テ

勞農露國カ今田出兵スルニ至リタ
ルハ豫定ノ行動ナリ馮玉祥ト聯絡
ヲ取リ支那ノ赤化ヲ計劃シタルモ
張作霖ニ依リテ其計劃畫餅ニ般
シ馮ノ亡命ヲ見ルニ至リ急ニ積
極手段ニ移リタルモノニシテ勞
農露國ハ今ヤ極端ナル侵略的帝
國主義ヲ發揮シツ、アルナリ

北滿ハ天地既ニ危殆ニ陥リタル
曉日本カ如何ナル態度ニ出ヅル
ヤハ吾等ノ容喙スヘキ処ニ非サ
ルモ必要ノ前ニハ如何ナル障碍
ヲニ排除スベク斷乎タル態度ヲ
示サズルヘカラズ徒ラニ左顧右
眄列強ノ鼻息ヲ窺フコトニノミ
汲々タルカ如キハ斷シテ吾人ノ
賛成スル処ニ非ス云々

(3)

01

門
類
項
號

外務省文書課
第1677號
15.1.30

12
歐米局

外秘第二二一號

大正十五年一月二十九日

大正十五年貳月拾日

記録係

署名

警視總監 太田 政弘

内務大臣 若槻禮次郎殿
外務大臣 幣原喜重郎殿
指定廳府縣長官殿

「セミヨノフ」関係露國人入京ノ件

神田區錦町三一九芳子閣止宿

「セミヨノフ」通譯

「サザノフ」

右ハ既報露國義勇船隊駐日代表「ナハルコフ」ト共ニ昨二十八日午後零時十五分東京驛着入京、肩書ニ止宿セルカ本人ハ未月四日豫テ控訴中ノ金塊問題ニ関シ東京控訴院ニ於テ公判ヲ開カル、爲メ原告「セミヨノフ」上京スルニ付其準備ノ都合上先發シ来レル由言動内偵中
右及申(通)報候

11

歐米局

特高第八三號

綴込名

大正十五年一月廿八日

山口縣知事大森吉五



雪

門
類
項
號

内務大臣若槻禮次郎
 外務大臣幣原喜重郎
 指定廳存縣長官
 中村内務事務官
 立田内務事務官

要目

殿殿殿殿殿

大正十五年貳月拾日 記録係接収

外務省文書
 受領 717 號
 15. 21.

歸來邦人ノ時向從ニ関スル件

セミコノヲ將軍顧問

瀬尾

榮太郎

本日前七時入港ノ同船運結船昌慶也ヲ呼

来ルカ禮察係員ニ付シテ、如キ談ヲ為セリ

在記

一、去年十月中旬懷支北京天津庫倫滿州里奉天方面ヲ以遊シタルカ来月四日ノ裁判事件其他ニ付長崎滞在ノセミコノヲ將軍ト打合セ、為メ歸來セルモノナリ

一、東支鐵道ニシテ露支、軌、聯ヲ好期トシテ也將軍ノ函出馬ヲ為サシムヘク種々副策セルモ意外ニ事件ノ解決早カリシ為メ一頓挫ヲ来セル次第ナリ併シ今後モ露支關係如何ニヨリ何時吾々ノ活動ノ火蓋ヲ切ルヤ計ノ難シト

一、ソヴィエト政府ノ赤化宣傳ハ非常ナル勢力ヲ以テ多

(A)

人宣傳費ヲ費シ東洋ニ魔ヲ延シテ、アルヲ
際セ將軍ヲ函起セシメ張ト相提携シ赤化宣伝
防止ニ努メシムルノ要アリ云々

(B)

機密第四

大正十五年 歐米局 日

別紙添付

附屬書類添附

歐米局

在哈爾濱

總領事 天 羽 英

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

總込名

陸

組

長

件名

張宗昌軍参加露人
團體ニ関スル件

(第五報)

外務省文書課
受第 15.2. 2 號

門 6 3

本件ニ關シ一月十八日附機密第五號ヲ以
テ在濟南總領事宛報告致置タルニ付右寫御參
考迄茲ニ送付ス

大正十五年參月九日
記録係 接



寫

公領機密第五號

大正十五年壹月十八日

在 哈 爾 賓

總領事 天 羽 英 二

在 濟 南

總領事 藤 田 榮 介 殿

張宗昌軍參加露人團體ニ關スル件（第五報）

張宗昌軍參加左記露人六十名ニ對シ本月十八日附大連經由貴地行査證
ヲ與ヘ置キタルニ付テハ右御參考迄通知ス

記

一、グリチャエフ、ワレンチン

Григорьев Валентинъ

ニシエルギン、ニコライ

Шеринъ Николай

在哈爾賓日本帝國總領事館

（已號用紙）

三、ニコウヤジン、ワシイリイ

Новяинъ Василий

四、クラケ、シヨガン

Краке Шоганъ

五、スームパノフ、アフメツド

Сумановъ Ахметъ

六、パノフ、パウエル

Пановъ Павелъ

七、ゴフタ、フヨードル

Гофта Федоръ

八、パノフ、ヤコフ

Пановъ Яковъ

九、ソロヴィヨフ、ワシイリイ

Соловьевъ Василий

一〇、ウラサムボトフ、アフツーラ

Уразамотовъ Абулла

一一、ニコノワノフ、イワン

Ноновановъ Иванъ

一二、パデラシ、アンドレイ

Падераш Андрей

一三、イシヤトフ、フヨードル

Ишатовъ Федоръ

在哈爾賓日本帝國總領事館

（已號用紙）

一四、ニコロフニコフ、ペヨートル
 一五、ニコルフアノフ、イムフエト
 一六、ソツトニコフ、ニコライ
 一七、グルホフ、フョードル
 一八、コリヤギン、イグナチイ
 一九、ロモフ、ニコライ
 二〇、スーリフ、ゲオルキイ
 二一、ボトフ、アルカデイ
 二二、アルザマセフ、ボリス
 二三、リバトフ、ニコライ
 二四、ウリュビツト

Короховъ Петръ.
 Горюновъ Илья
 Сопниковъ Николай
 Глуховъ Федоръ
 Полягинъ Игнатій
 Ломовъ Николай
 Суримовъ Георгій
 Ротовъ Аркадій
 Арсамасевъ Борисъ
 Липатовъ Николай
 Урюкинъ

在哈爾濱日本帝國總領事館

(已用紙)

二五、ミルニコフ、ユーリイ
 二六、フサハロフ、ピョートル
 二七、チュンロフ、ニコライ
 二八、コルパコフ、ワシイリイ
 二九、ドマシエフスキー、キリル
 三〇、ラズロフ、ペヨートル
 三一、ツ井チコフ、ワシイリイ
 三二、リホフ、ウラヂミル
 三三、コロヴァチエフ、ニコライ
 三四、カレヂン、ウラヂミル
 三五、エボフ、ウラヂミル

Милковъ Юліи
 Пыхаловъ Петръ
 Чунровъ Николай
 Колпакъ Василій
 Домашевскій Кирилъ
 Разумовъ Петръ
 Тучковъ Василій
 Львовъ Владимиръ
 Головачевъ Николай
 Капоровъ Владимиръ
 Эповъ Владимиръ

在哈爾濱日本帝國總領事館

(已用紙)

三六クル井ロフ、アレクサンドル
三セコルバコフ、ニカンドル
三八ハノリン、コンスタンチン
三九コドチロフ、アレクサンドル
四〇カルナコフ、イノケンチイ
四一プリエハストノフ、イワン
四二ナムサウエフ、アゾス
四三ボガノフ、ホツマ
四四ダニレフ、ツエレンヂヤン
四五ワシリエフ、イワン
四六タバルコフ、プロコーピイ

Корень Александръ
Копиковъ Никандръ
Харинъ Константинъ
Коччиловъ Александръ
Корнаковъ Инокентій
Рыловъ Илья
Насаровъ Азозъ
Бочановъ Бада
Даниловъ Царевичъ
Васильевъ Иванъ
Попковъ Прокопій

在哈爾濱日本帝國總領事館

(已用紙)

四七イリイン、アパロン
四八フタエフ、トンツウク
四九ナムサラエフ、パツキ
五〇マトヴェーフ、アレクセイ
五一、イニチーエフ、ボズ井ル
五二、ボホフ、ゲオルギイ
五三、フサルコフ、ミハイル
五四、ボブコフ、ミハイル
五五、カブネロフ、ラセナロント
五六、ミヤセシコ、グリゴリーイ
五七、エフイモフ、アレクセイ

Ильинъ Апполонъ
Будавъ Тондукъ
Насаровъ Валъ
Матвеевъ Алексѣй
Иниевъ Бозыръ
Поповъ Георгій
Быковъ Михаилъ
Натеревъ Бобковъ Михаилъ
Напировъ Коенафонтъ
Мищенко Григорій
Ройновъ Алексѣй

在哈爾濱日本帝國總領事館

(2) 用紙

五八ワニコフ、ガヴリール

Ванюша Гавриль

五九アレクセーエフ、ワシイリイ

Алексея Василья

六〇、バズ并ロフ、ガレツール

Базюль Гавриль

本信送附矣

外務大臣 在支公使 在奉天總領事

關東長官

在哈爾濱日本帝國總領事館

REEL No. 1-1305

0:00

附屬書類添附

機密第 4 号
大正十五年 壹月 二十二日
歐米局 (二機)

在哈爾濱

總領事 天 羽 英

別紙添付

外務大臣男爵 幣原喜重郎

殿

件名

大正十五年參月九日 記録係接受

外務省文書部
第 22 号
15.2.2

張宗昌軍參加露人團體ニ關スル件 (第六報)

本件ニ關シ 壹月十九日附 機密第 六 號ヲ以
テ 在濟南總領事
宛報告致置タルニ付右寫御參
考迄茲ニ送付ス

(已號用紙)

公領機密第六號

大正十五年壹月十九日

在 哈 爾 濱

總領事 天 羽 英 二

在 濟 南

總領事 藤 田 榮 介 殿

張宗昌軍參加露人團體ニ關スル件 (第六報)

張宗昌軍參加露人左記十四名ニ對シ本月十九日附大連經由貴地行查證
ヲ與ハ置キタルニ付テハ右御參考迄通知ス

記

ハルヂノフ、アボロフ

ПРАХОВЪ АННОЛОПЪ

ニエヴスユコフ、ニコライ

ПРИКОПЪ НИКОЛАИ

在哈爾濱日本帝國總領事館

(已 號 用 紙)

三、巴拉ノフ、イワン	Барановъ Иванъ
四、エレミツチ、グリゴリイ	Еремичъ Григорій
五、イバトフ、ニコライ	Ипатьевъ Николай
六、トレネフ、アフアナシイ	Треневъ Анастасій
七、カプリユール、セルゲイ	Напильскъ Сергій
八、ヴネリツキー、アントン	Винокуръ Антонъ
九、グーシコフ、ピョートル	Гусевъскъ Петръ
一〇、ヴェルガチヨフ、ミハイル	Вергачевъ Михаилъ
一一、サバーキン、ゲオルギイ	Собакинъ Георгій
一二、ヴォルコフ、アレクサンドル	Волковъ Александръ
一三、ラツアリヨフ、パヴェル	Лавровъ Павелъ

在哈爾濱日本帝國總領事館

(已 號 用 紙)

1884

一四、ユーリエフ、ワシイリイ	Юрьевъ Василій
本信寫送附先	
外務大臣	在支公使
關東長官	在奉天總領事

在哈爾濱日本帝國總領事館

米局?

2、外高秘第一號

大正十五年一月十八日

長崎縣知事 大正十五年一月十八日 福永 鳩

門類
項目
號

内務大臣 若槻禮次郎 殿
外務大臣 男爵幣原喜重郎 殿
指定廳府 縣長官 殿

ふん

外務省文書課
受第1815號
15.2.2

セミヨーノフ 關係露國人旅行件

長崎市南山手町二十二番地居住
セミヨーノフ 將軍秘書

露國人 エス・ピー・ヤゾーノフ

Sejima

令三十三年

右者本月廿六日午後十時長崎驛乘列車
ニ東京へ向ケ出奔シタルヲ以テ調査スル
ニ来月四日東京裁判所ニ於テ開廷セラ
ルニキヤ、チャーギン、金塊所有權確認公
判ニ出廷準備其他亜細亞宗教聯盟
ニ關スル用件ノ為メ、セミヨーノフ 將軍、命
ヨリ上京シタルモノニテ、今將軍モ不日出奔
ノ筈ナリトナフ
右及申(通)報候也

3

外高秘第一號

大正十五年二月一日

長崎縣知事

富永鴻雪

大正十五年二月拾日 記録係 殿

及追認細中

門類
項
號
6
3

外務省文書課
第1915
152.4

要目付

内務大臣 若槻禮次郎 殿
外務大臣 男爵 幣原喜重郎 殿
陸軍大臣 宇垣一成 殿
指定廳府縣長官 殿
佐賀縣知事 殿

セミヨーノフ將軍上京件

長崎市南山手町十五番地居住
元露國陸軍中將

グリゴリー・エム・セミヨーノフ

夫人
Gregory M. Demeroff
エム・セミヨーノフ

右者客月三十日午後一時三十分長崎駅弁列
車ヲ長崎市今典町江崎清三郎全伴(夫妻
ハ一等江崎ハ二等)上京レタルガ其要件内査
スルニ左記ノ通りニ有之候條
右及申(通)報候也

記

今因上京ハ本月四日東京ニ於ケルボヤギン金
塊問題ノ控訴審ニ証人トシテ出廷ノ為メ及東
京市牛込ヶ谷町居住露國入技師ゴロフナヨ
フ、娘ノ結婚ニ招待ヲ受ケタルヲ以テ列席ノ

為メ特ニ夫人ヲ同伴シタルモノナリト云ヒ在
京中ハ神田区錦町芳々閣ホテルニ投宿
シ其間河合參謀總長奥平昌恭伯其
他宗教聯盟関係者ヲ訪問シ本月八九
日頃飯永ノ予定ナリト云フ以上

外務省文書課
1943 號
10.2.5

門
類 6
項 3
號

内務大臣若槻禮次郎 殿
外務大臣幣原喜重郎 殿
指定廳府縣長官 殿

要目付

セミヨノフ、動靜ニ関スル件

セミヨノフ將軍ハ友人ノ結婚式參列ノ為メト稱シ夫
人同伴ニテ客月三十一日第二列車ニテ東上セリ
及申(通)報候也

13
特島第九七八號
歐米局

大正十五年二月二日

山口縣知事大森吉五

綴込名

大正十五年貳月拾日 記録係接受

山田 太郎
101

緩込名

大正十五年二月二日

佐賀縣知事 齋藤 行三

內務大臣若槻禮次郎殿
外務大臣幣原喜重郎殿
長崎、福岡兩縣知事殿

外國人視察ニ關スル件

長崎市南山手町十二番地居住

グリ
ゴ
リ
ー
セ
ミ
ヨ
ー
ノ
フ

右者客月三十一日午後一時三十分長崎驛發列車ニて上下ノ關ニ向ケ出發シタルニ付視察方長崎縣ヨリ通報有之俟注意中ノ處同日午後五時十七分管下鳥栖驛ヲ通過シタルニ付其ノ旨福岡縣ヘ通報シ置キタリ

佐賀縣

外務省文書課
受第 2013 號
15.2.6.

門	
類	
項	
號	

秘

歐米局長

在 京 關 東 長 官 殿	關 東 州 在 勤 海 軍 武 官 殿	關 東 憲 兵 隊 長 殿	關 東 軍 參 謀 長 殿	警 保 局 長 殿	拓 殖 局 長 殿	亞 細 亞 局 長 殿
---------------------------------	--	---------------------------------	---------------------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------------

大正十五年二月二日

關東廳事務局長

大正三年貳月拾日

記錄係按

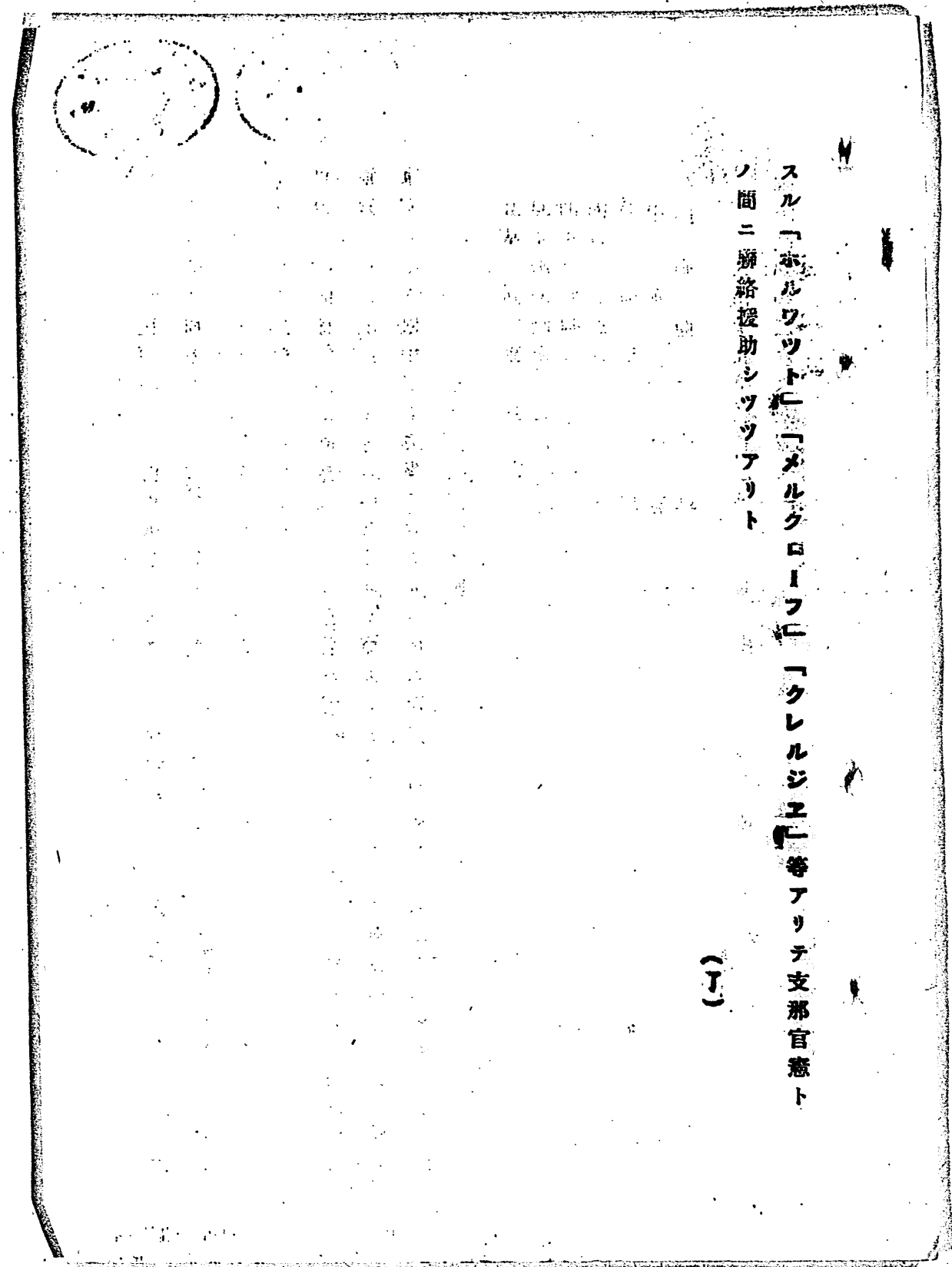
哈爾賓露國白衛團

門	類	項	號
---	---	---	---

外審省父書課
文庫 15 號
19. 2. 6.

東支鐵道ノ紛爭以來在滿白黨露人ハ頓ニ活氣ヲ呈シ盛ニ活躍シ居レルカ吟同哈爾濱ニ於テ元陸軍少將「バルジローヴスキ」ヲ首領トシ學生帝政黨員黑シヤツ組十字團員、黑輪團員（最後ノ三者ハ皆白派ノ團結ナリ）ヨリ成ル白派自衛團ナルモノ組織セラレタリト

而シテ該團ハ支那軍憲ヨリ内密ニ銃器及防寒具ヲ給與セラルル等其ノ後援アルモノノ如シ尙該團體ノ組織ニ就テハ元「ホルワツト」將軍ノ補佐タリシ「ブレシニコフ」將軍等ガ盡力セルモノノ如ク之ガ背後ニハ奉天ト密接ナル關係ヲ有



REEL No. 1-1305

0:08

外務省文書
文書第2262号
15.2.8.

内務大臣
若槻禮次郎殿
外務大臣
幣原喜重郎殿
指定廳府縣長官殿

13

兵外秘第297號

大正十五年二月五日

兵庫縣知事 山縣治郎

大正十五年二月五日 記録係 監

雪 18

セメコフ將軍關係露國人
歸神ニ関スル件
神戸市野崎通二丁目五〇
羅抄行商露國人
アブドラハマン、マスターフィン四年

右者父「マスターフィン」ガセ將軍旗揚當時
常條「シテ奮戦セ」關係上將軍、信用
ヲ得哈爾濱方面旅行ニ際シテハ長崎ニ
立寄り將軍、寓居ヲ訪ヒ敬意ヲ表スル
ヲ常「レ」居レルカ同人ハ客月七日神戸出
発長崎經由哈爾濱ニ旅行シ本月一日
歸神「レ」ルカ將軍ノ近況及哈爾濱ノ近況
ニ関シ在、如ク語レリ

一セ將軍ハ一昨年来ヨリ滿蒙全社ノ設立ヲ
計画各方面ニ運動シ其遂行ヲ期シ「レ」テ
之今以テ實現スルニ至ラス行「レ」テ
將軍ハ今回、東支鐵道問題ニ関シ「レ」テ
張

作霖ト提携何等カ計画シ居レル如キ風評
アルモ全ク風説ニ過キヌ又哈爾濱方面ノ
白系露國人間ニハ露國內地白系巨頭連
日ノ機ヲ見テセ將軍ノ奮起ヲ促スヘク
將軍ニ宛テ密書ヲ送リタリトノ説アルモ
之亦事實ナラサルモ、如シ自カノ見ル如ク
ハ目下將軍ニハ何等政治的野心ナク只
管事業ノ成効ヲ急オ、アル模様ナリ
二樓乱後ノ哈爾濱ハ至極平靜ニ渡シ事
件前ト何等變リナカキモ各種ノ流言
流布セラレ人心ハ依然動搖シツアリ
東支鉄道従業員組合（ドルコム）員ハ支那
側ノ機界ニ氣ヲ付ナシ機ヲ見テ反對ノ

氣勢ヲ呈セントスル模様アリ之ニ沿線共
産黨員等ノ策應運動頻リニ行ハレ所謂
山雨將ニ臻ラントシテ風樓ニ滿ツルノ概アリ
故ニ東支鉄道問題ヲ中心トシテ近ク何等
カ一騒動起ルハナハ想像ニ難カラサルナリ
云々

右及中（通）報候也

外務省文書
2172
15.2.8.

門
類
項
號

6
外高秘第

歌米局

大正十五年二月四日

長崎縣知事

富永

鴻

内務大臣 若槻禮次郎 殿
外務大臣 幣原喜重郎 殿

指定廳府縣長官 殿
連内務事務官 殿

大正十五年貳月拾日 記録係接受

セミヨノフ將軍關係者渡来件

蒙古人 張 雨 霖 令其六年

全日本語通譯

施 文 定 令其單

右兩名ハ本月二日午前十一時四十分上海ヨリ入港ノ
長崎丸ニ當地上陸トシテ渡来シタルヲ以テ調
査スルニ上海居住間子商ニシテ商取引ヲ為メ
渡来シタルモノナリト稱シ其他ハロヲ緘シテ何
事モ語ルヲ欲セス極力其身分等ヲ秘シ居
タルガ更ニ調査ノ結果セミヨノフ將軍ニ
關係アル蒙古人ナルコト判明シタルカ當地ニ上
陸スルヤ市内六浦町ジャパニテルニ投宿シ午後
南山手町十五番地セミヨノフ將軍ノ寓居ヲ訪
問シタルモセミヨノフハ既ニ上京不在ノ為メセ夫
人エレナノ實姉シヤブリナ(留守居中ノ者)ヨリ此旨
在京中ノセミヨノフ將軍宛電報シ右兩名ハ
今日午後二時長崎弁列車ニ上京シタルカ勿

論セミヨロフ將軍ニ會見ノ爲メナリ尚舩
中ニ於ケル右兩名ノ言動内查スルニ特ニ參
等舩客トシテ衆舩ニ張ノ身分ニ就キ施通
譯ハ張ハ元奉天軍陸軍中將ニシテ曾テ某
師團長タリシコトアリト稱シ居タル趣ナルモ張
自身ハ自己ノ身分等ニ関シテハ一言モ語ル
處ナカリキ施通譯ノ語ル處真偽断シ難
キモ御參考迄
右及申(通)報候也



門類	63
項目	3

案目付



亞細亞局

歐米局長

8

歐米局長

開機高収第三〇二號、一及過像振平作

大正十五年二月五日

關東廳警務局長

外務省亞細亞局長殿
拓殖局長殿
内務省警保局長殿
指定廳府縣長官殿
關東軍參謀長殿
關東憲兵隊長殿
關東州在勤海軍武官殿
在京關東長官殿

大正十五年六月廿貳日記録係接受

101



白黨巨頭連ノ策動ニ關スル件

東支鐵道紛争以來主湍白系露人カ遽ニ色メキ
暗中飛躍ヲ試ミツツアルコトハ既報ノ通りナルカ其
後奉天方面ニ於ケル同巨頭連ノ策動經過左ノ
如シ

記

一元セミヨフ將軍參謀長クレルゼ中將並ニ元東支
鐵道長官ホルワット將軍等ハ純帝政運動派ノ
(ニコライ推戴派)巨頭ナルカ郭松齡反逆後支那
側ト連絡策動スヘク計畫セルモ失敗ニ終リ更ニ北
滿問題勃發シ好機トシ支那側ヨリ武器彈藥
軍資金等ノ補給ヲ受ケ在支帝政黨並ニ極東

三州ノ同志ヲ糾合シ積極的策動ヲ目論見クレルゼ
ホルワット等ハ再三支那側交渉ヲ訪問シ其ノ進
行ニ努メツツアリシカ支那側ニ於テハ常ニ張國忱ハ
張作霖ニ相談シテ何トカ回答スヘシトミ答ヘテ未タニ
確答シ與ヘサル為メ白黨側トシテモ豫メ策動ノ大
綱ハ目論見居ルモ具體的進行ヲ見サル内北滿問
題モ表面解決スルニ至リ支那側トシテハ更ニ氣乗
ニナラス彼等ノ活動ハ一時頓挫ヲ来セル模様ナリ
目下奉天ヘウエー旅館ニ投宿中ノ哈爾賓在住サトウ
スキー一派ハ實質ニ於テ共產黨ニ對スル反動團體
設置ヲ支那側ヨリ容認セラレタルモ今一派ハ等シクニ
コライ推戴派ナル關係上ホルワット等トノ共通点アリ

旺ニ来往シツツアルモ前項策動既ニ行詰リノ状態ニ
アリ此際一日モ早ク哈爾賓ニ至リ右團體設置ニ奔
走シテ本意ナルモ目下旅館ノ支払ニ窮シ自然
遲延中ナルカ或ハ近ク在哈爾賓一派ヨリノ送金ヲ
受ケ出度ムルニ至ルヘシト觀察セラレツツアリ

一、天津在住陸軍少將ブルリンハ客月二十九日大連經
由奉天着今夜ヘウエー旅館ニ止宿シ前項サトウ
スキー一派並ニホルワット、クレルゼ等ト来往シ將來策
動ニ關シ連絡シツツアルカ之又北滿問題解決後ノ
コトトテ近ク天津ニ向フニ至ルヘシ

一、長春在住元陸軍大佐ジャドウオインハキリルウラジ
ミルウイチ大公推戴代表者ナルカ客月三十日午後一

時二十八分奉天着列車ニテ長春ヨリ奉天着今市内加
茂町ヘウエー旅館ニ投宿セリソノ所用ニ就キ今人ノ
語ル處ニ依テ最近奉天ニハニコライ大公推戴派代表
者数名共產主義及動機関ノ組織ニ関シ承認方
運動中ノ處支那官憲ヨリ承認セラレタリトノ報ニ接シ
タルヲ以テ其ノ内容状況等ヲ調査シニコライ推戴派
ノ策動如何ニ依リテハ將來ノ行動ヲ改新シ將來
ニコライ派ト相提携策動シタキ希望ヲ有シ其ノ状
況調査ノ為奉天ニ来リタルモノナリト稱シ居レルカ近日
中長春ニ歸ル筈ナリ

以上ノ通りニシテ各巨頭連ノ活動モ大体ニ於テ急ニ
ニ進行覺束ナカルヘク又仮令反動團體ヲ設置セリ

トスルモ此方農露西亞ノ現況ヨリシテ當分策動ヲ開
始スルカ如キコトナカルヘシト觀察セラル
右及通報候也

附屬書類添付

大正十五年二月二日

在哈爾濱

總領事 天 羽 英

別紙添付

外務大臣男爵 幣原喜重郎殿

大正十五年二月廿六日 郵係接受

門類
細部

件名

張宗昌軍參加露人團體ニ関スル件

本件ニ關シ一月廿九日附機密第七號ヲ以テ濟南總領事宛報告致置タルニ付右寫御參考迄茲ニ送付ス

外務省文書課
文書 104 號
15.2.10

(已用紙)

門類
添付

公領機密第七號

大正十五年一月二十九日

在哈爾濱

總領事 天 羽 英 二

在 濟 南

總領事 藤 田 榮 介 殿

大正十五年二月廿六日 郵係接受

張宗昌軍參加露人團體ニ關スル件 (第八報)

張宗昌軍參加露人左記四十六名ニ對シ本月二十九日附テ大連通過
實行査證ヲ與ヘ置ケルニ就テハ右御參考迄通知ス

記

一モケーエフ、コンスタンチン

МОСКВА КОНОТАТИНЪ

ニユスーボフ、フアズ井ル

НЮСУБОВЪ ФУЗУИЛЪ

在哈爾濱日本帝國總領事館

(已 用 紙)

三 ユスーホフ、サイニツトチン	Рословъ Зайнигдинъ
四 レビヨーシギン、ゲオルキ	Лепешкинъ Георгій
五 ダヴサドフ、アレクサンドル	Давыдовъ Александръ
六 ホルボット、コンスタンチン	Болотовъ Константинъ
七 シャイツーリン、サキル	Шайдулинъ Закирь
八 プーシカレヨーフ、 ^ワ シイリイ	Пушкаревъ Василий
九 ^ア フイーモフ、ニコライ	Анфимовъ Николай
一〇、スミルノフ、ペヨートル	Смирновъ Петръ
一一、シャピン、セルゲエイ	Сяпинъ Сергѣй
一二、バヴロフ、バヴェル	Павловъ Павелъ
一三、コスチエンコ、バヴェル	Коспиченко Павелъ

在哈爾濱日本帝國總領事館

(已 用 紙)

一 四 水セシ、アナトリーイ	Хосень Анаголий
一 五 マリツエフ、ミハイル	Мальцевъ Михаилъ
一 六 シエストコフスキー、コンスタンチン	Шестковскій Константинъ
一 七 シャリン、イワン	Шаринъ Иванъ
一 八 チクノフ、ミハイル	Дикунновъ Михаилъ
一 九 チトフ、ヴラデーミル	Титовъ Владимиръ
二〇、フ井コフ、ワレンチン	Быковъ Валентинъ
二一、テュメイコ、チモフエイ	Тюмейко Тимофей
二二、シハテツーリン、ハベーフ	Шихабутулинъ Хабеевъ
二三、ラサレフ、バヴェル	Лазаревъ Павелъ
二四、コロネヨーフ、エフイム	Кореньевъ Ефимъ

在哈爾濱日本帝國總領事館

(已用紙)

二五 トルホフ、アフアナシイ
二六 サバーキン、ゲオルキイ
二七 ヴエルガゾフ、ミハイル
二八 シエルメーエフ、ペシートル
二九 タラカノフスキー、ニコライ
三〇 ウリユーピン、ラヂオン
三一 エフイモフ、アレクセイ
三二 サヴィン、ワシイリイ
三三 ワンケエフ、ガヴリール
三四 バツブリヨフ、コンスタンチン
三五 ミシエンコ、グオルキイ

Торховъ Афанасій
Сосакинъ Георгій
Бергазовъ Михаилъ
Череметьевъ Петръ Пав
Таракановскій Николай
Урюпинъ Радіонъ
Ефимовъ Алексѣй
Савинъ Василій
Ванкеевъ Гавриль
Батыревъ Константинъ
Мищенко Георгій

在哈爾濱日本帝國總領事館

(已用紙)

三六 ガシワゲフ、グリゴリイ
三七 カレデン、ペシートル
三八 コスヴコフ、ペシートル
三九 シバーモフ、フヨードル
四〇 ノノフリヨフ、アレクサンドル
四一 ロゴツキイ、ニコライ
四二 ア~~ン~~ネンコ、セメヨシ
四三 ヴオルクフ、アレクサンドル
四四 ポボフ、イノケンチイ
四五 シュールツェフ、イワン
四六 マ~~キ~~^スキ

Головачевъ Георгій
Калединъ Петръ
Госковъ Петръ
Шибановъ Федоръ
Нондлеръ Александръ
Рогоцкий Николай
Антоненко Семенъ
Волковъ Александръ
Поповъ Иннокентій
Шурцовъ Иванъ
Мастя

在哈爾濱日本帝國總領事館

本信 寫送 附先

外務大臣 在支公使 在奉天總領事
關東長官

(已 號 用)

在哈爾濱日本帝國總領事館

REEL No. 1-1305

0119